

土浦平和の会

ニュースNO・57 1998年 2月

発行 土浦平和の会
 事務局 土浦市神立町2 6 6 4 2
 TEL 3 1-9122

沖縄の意志脳:変わらず、St&NO

— 県回は新たな基地を容認しない —



名護市長選挙は「ヘリ基地反対・市民が主人公の明るい名護市をつくる会」のたまき氏が48・1%の得票を得ながら、惜敗しました。岸本候補の「基地問題は凍結する」という争点隠して進められた選挙は「基地容認」の意志表示にならないのはあきらかです。大田知事は「戦後不可抗力的な強権発動によって建設された基地の代替に、県と県民が新たな基地を容認することはできない」と言い、選挙後の記者懇談会でも「県の方針は変わらない」とのべました。基地の75%が沖縄に集中している現実を放置しておいて、「振興策」と引き替えに容認を迫る橋本内閣の姿勢は、沖縄が戦後50年以上の間背負ってきた苦しみを理解していない態度にほかなりません。「沖縄振興策」は政府の当然の義務です。岸木氏も「名護振興策」を掲げて当選したし、選挙後も「受け入れ容認の立場にありません」と表明しています。沖縄県内各紙も「市民投票の結果と人田知事の建設反対声明がすべてである。岸本氏の当選によって状況が変わるわけではない」（琉球新報）。「県民が海上基地建設を容認したと受け取るのは間違いだ」（沖縄タイムス）と書いています。

アメ・力の識者も「海兵隊の引き揚げ」を提言

海兵隊陞引き上げるべし（ワシントン経済戦略研究所クレモンス副所長）

「海外の米軍基地と部隊は基本的に本国に引き揚げるべきだし、とくに海兵隊の削減、引き揚げを早く実現すべきだ」とのべ、大田知事が海上基地建設を拒否したことを歓迎すると語ったといひます。なお同氏は「日本に大最の米軍がいるのは、思いやり予算の名で[]本政府がかなりの財政負担をしていることもあります。米政府が自分で負担するとなったら話は全く変わってくるでしょう」とも語ったといひます。

普天間基地|春無条件返還を（日本政策研究所所長チャルマス・ジョンソン氏）

「海上ヘリ基地は、試験的なものであり、最初の数年間は事故が頻発するだろう。もっとも合理的な解決策は、今日の東南アジアには安全保障上の危機はないことを明確に認識して、米海兵隊を故郷に戻すことだ」

百里初午まつり盛六に！ R300名。上浦から26名参加。

有事にさいして白里基地の29機の偵察機がどんな役割を果たすのだろうか？

「く」の字の誘導路をどうするのだろうか？ 「民間機共用」は危険ではないのか？



百里の一坪地主は、毎年1度はこの「初午まつり」に参加して、基地拡張を許さない戦いを確認しあい、団結を確かめあっています。いま、「新ガイドライン」によって、日本で唯一の偵察隊の役割は後方支援の重要な役割を果たそうとしています。偵察機の情報はIDDN（防衛統合デジタル通信網）によって防衛庁情報本部の「中央指揮システム」に直結し、さらに、米軍の「地球規模指揮・統制システム」に連結されて、日米防衛協力の重要な一端を担う仕組みに組み入れられているのです。その意味で、百里は第1線の実戦基地です。危険をさらに拡大してはなりません。百里平和公園と旧射爆場山を守りましょう。

QU宮撤反対請願・陳情署名

（土浦市議会・市長宛）はじめます

行事ごよみ

- 1月14 [] 県平和委常任理事会（水戸）
- 1月18日 県平和委理事会（石岡）なかま作り、財政
- 1月20 [] 上浦平和の会理事会（1中地区公民館）
- 2月 6日 県平和委常任委（水戸）有事立法署名他
- 2月11日 百里初午祭り（百里平和公園）
- 2月17日 上浦平和の会理事会（1中地区公民館）
- 2月28～3月2日 ビキニデー（焼津）

見に行きませんか？

紀伊国屋サザンシアタ 4月11日～30日

— 青年劇場 第71回公演

真珠の首飾り

作・演出：ジェームズ三木 制作：福島明夫

わずか7週間で草京を作成したGHQ民政岡員たちびいた。

ジャズの名曲にのせて描（日串国憲法誕生の舞台裏 //